

平成 25 年 3 月 28 日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部保健体育

氏 名 岡野 昇

活動テーマ	四日市市の幼児児童生徒の運動能力・体力向上のための推進活動(2 年目)
実施期間	平成 24 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月
活動内容	本活動は、四日市市の幼児児童生徒の体力・運動能力等の現状を把握し、体力の向上を図るため、四日市市教育委員会・学校教育現場と連携・協力をしながら有効な実践及び環境づくり等の取組について研究を行うとともに、情報発信を行い、幼児児童生徒の体力向上の推進に資することを目的とした。 四日市市の平成 22 年度全国体力・運動能力調査（対象は小学校 5 年生と中学校 2 年生）9 種目の調査結果は、全国との比較においてほとんどの数値が下回っている。その状況を受け、①学校園における運動（遊び）指導の改善・充実②外遊び、運動・スポーツを行うための時間・空間・仲間の確保③日常的に運動に親しむ取組の充実④家族や地域への発信⑤感覚統合運動を取り入れた体力向上運動の作成⑥教材教具の充実の 6 つの観点から、「四日市市運動能力・体力向上のための推進プログラム（以下「推進プログラム）」の作成と実践を目指した。 2 年目にあたる今年度は、①②③⑤⑥にかかわり、中学校版の『5 分間運動カード』を開発・作成した。四日市市内すべての中学校における保健体育の授業始めの 5 分間で取り組む運動を開発し、生徒の運動量の確保と運動の質を保障することにより、生徒の体力向上と運動能力の形成をねらったものである。 こうした「推進プログラム」の開発は、四日市市教育委員会指導課・スポーツ課により企画・調整がなされ、四日市市内の学校園長代表（3 名）と小中学校教員代表（7 名）で「四日市市運動能力・体力向上推進委員会」として組織された中で、3 回の委員会と 3 回のワーキング部会を通して進められた。なお、中学校版の「推進プログラム」の本格実施は次年度からとなっており、各学校では 4 月から取組が一斉に開始される。 このような体力にかかる取組は、これまで個々の学校や個々の教員らに任されていたが、本活動は幼保小中の連携や専門機関との連携を中核とした教材開発や実践開発、教員の専門性の力量形成につながることを期待され、教育現場における新しいシステムの可能性として四日市市教育委員会から一定の評価を受けている。また、本活動で得られた知見や成果は、三重県教育委員会や大学における専門教育（教職・教科に関する科目）において還元していく予定でいる。